

日頃から県労福協の活動にご支援・ご協力いただきありがとうございます。

第4号で「2022年新型コロナウイルスはどうなるでしょうか。」「昨年末からFace to Faceの活動が始まりました」と伝えてきましたが・・・新年を迎え連合熊本の賀詞交歓会以降危惧していた「オミクロン株」による第6波が訪れてしまいました。「ステルスオミクロン株」も発生し、これはオミクロン株以上に感染力が強いと・・・熊本も毎日1,000人を超える感染が続いています。身近なところでも感染者がでていり、どうすべきか思案します。やはり、手洗い・うがいの基本的なことと三密回避しかないように思います。3回目の接種も始まりました。飲み薬の開発の進み、塩野義製薬の飲み薬はすでに製造が開始されており、早く厚労省の承認がおりればと思います。

後段に記載していますが、「第4回次世代リーダー研修会」も2月26日に開催すると決定しているものの感染状況が非常に気になるところです。

さて、第5号のひと言コーナーは松村副理事長から寄稿いただきました。これで県労福協三役からのひと言は終わりましたので、次号からは理事の皆様からいただくことを過日開催した理事会で承認いただきました。みなさん楽しみにお待ちしております。

【1】松村副理事長からひと言

熊本県労働者福祉協議会を支えていただいている、労働組合・事業体の皆さま、お疲れ様です。熊本県労福協で副理事長を仰せつかっています、自動車総連(議長)の松村です。

今回、労福協「ふれあい通信」第5号への投稿依頼がありましたので、自動車総連についてご紹介させていただきます。

私たち自動車総連(全日本自動車産業労働組合総連合会)は、裾野の広い自動車産業を象徴するように、メーカー、車O体・部品、販売、輸送の各業種、及び一般業種で働く79万7千人の仲間が広く集結した産業別労働組合組織です。

自動車産業は100年に一度の大変革期と言われ、脱炭素社会の実現、CASE(C:コネクテッド・A:自動運転・S:シェアリングとサービス・E:電動化) MaaS(Mobility as a Service: ITCを活用して交通をクラウド化し、公共交通機関、バス、タクシーカーシェア等をシームレスにつなぎ予約と決済ができるモビリティのサービス化の事)への取組みが進められています。

更には「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」への取組みが急務となっています。具体的な取組は、走行する段階でCO2排出量を抑えるだけでなく、材料や部品・車両の製造、ガソリンの燃料製造やEV車で用いる電気の発電など、全ての段階で発生するCO2をゼロにしていく事を進めています。

その他の取組みとして、複雑かつ過重で不条理な自動車税の解消を前提に、自動車関係諸税が

経済成長の足かせとならないよう、簡素化・ユーザー負担軽減に向け抜本改革を強く働きかけています。

以上、自動車総連（自動車産業）の状況と取り組み内容になります。

二輪・四輪・汎用製品についてご相談がありましたらご連絡ください！

以上が私からの県労福協ふれあい通信の一言になります。

【2】中央労福協活動コーナー

■ 第1回地方労福協会議

日 時 2022年3月7日（月）14:00～15:25

開催形式 Web形式（Zoomウェビナー使用）

内 容

- 1 報告事項
 - (1) 中央労福協
 - (2) 各ブロック
- 2 意見交換
 - (1) 全国福祉強化キャンペーンについて
 - (2) 奨学金全国一斉相談について
 - (3) その他

※第1回地方労福協会議終了後、15:30分から学習会

テーマ 地域コミュニティの一翼を担う労働者自主福祉運動の人材育成について

講師 中村 圭介氏（法政大学大学院連携社会インスティテュート教授）

連合総研「地域コミュニティの一翼を担う労働者自主福祉運動の人材育成等に関する調査研究委員会」主査

※学習会について、昨年の合同研究集会での宮北先生の講演にも通じるものがあると思います。ご視聴希望の方は2月18日までに以下のURLにアクセスして必要事項を入力し申し込んでください。

<https://forms.gle/kEUk4DbDJziCCuQy5>

【3】南部労福協活動コーナー

■2022年度労働者福祉南部ブロック協議会定期総会について

九州管内の新型コロナウイルス感染症拡大によりハイブリッド開催へ変更

(1) 日 時 2022年2月17日 14時00分～15時50分

(2) 場 所 ホテル・レクストン鹿児島（鹿児島市山之口町4-20）

代議員については、Web参加となり、記念講演、交流会は中止

【4】県労福協活動コーナー

■県労福協第4回次世代リーダー研修・交流会

(1) 日 時 2022年2月26日（土） 9時30分～

(2) 場 所 熊本県労働者福祉会館大会議室

(3) 参加対象 各産別・労組の中堅・若年層の役員クラス（規模 50 名程度・前回参加者以外を対象とする）、県労協理事長、事務局 ※（地区労協、連合熊本構成組織）
（2021 年 8 月 31 日付け熊本県労協発第 11 号参照）

※対象者の参加が難しい場合は、上記に関わらず若年層を対象に参加要請

(4) 会次第

①開 会 9 時 30 分～

②理事長挨拶 9 時 34 分～

③講 演 9 時 40 分～

9 時 40 分～【講 演 1】40 分

演題 「労働者福祉運動・・・労働金庫について」

講師 九州労働金庫熊本県本部 本部長 上田 淳 氏

<質疑・応答>

《休 憩》10 分

10 時 30 分～【講 演 2】40 分

演題 「労働者福祉運動・・・こくみん共済coopについて」

講師 こくみん共済 coop 熊本推進本部 本部長 田川 仁 氏

<質疑・応答>

11 時 10 分～【講 演 3】40 分

演題 「連合運動について」

講師 日本労働組合総連合会熊本県連合会 会長 友田 孝行 氏

<質疑・応答>

12 時 00 分～ 閉 会

※弁当、お茶を配布

注 まん延防止等措置の期間が月末まで延長されるようであれば中止

■今後の行事計画

- ・2022 年 3 月 10 日 第 7 回理事会
- ・2022 年 3 月 17 日 第 6 回幹事会
- ・2022 年 4 月 14 日 第 8 回理事会
- ・2022 年 4 月 21 日 第 7 回幹事会
- ・2022 年 5 月 20 日 第 11 回（56 回）通常総会

【4】雑学（トリビア）コーナー

今回は、食料自給率について皆さんとしっかり共有していきたいと思います。日本の食料自給率は 40%しかありません。極端な話、10 人の子どもに対して 4 個のケーキしか食べさせることができないということです。飽食と言われた時代から今は「崩食」の時代と言われています。廃棄される食品は 600 万トンと言われています。世界には貧困、飢餓で飢えに苦しむ人がたくさんいます。

SDGs の目標に「飢餓をゼロに」という目標もあります。そのようなことを考え、まずは、私たち一人一人が食の大切さ、ありがたみを見つめ直すべきではないかと思ひます。

食料自給率とは

食料自給率とは、我が国の食料供給に対する国内生産の割合を示す指標です。

その示し方については、単純に重量で計算することができる品目別自給率と、食料全体について共通の「ものさし」で単位を揃えることにより計算する総合食料自給率の2種類があります。このうち、総合食料自給率は、熱量で換算するカロリーベースと金額で換算する生産額ベースがあります。

■品目別自給率

以下の算定式により、各品目における自給率を重量ベースで算出しています。なお、品目別自給率では、食用以外の飼料や種子等に仕向けられた重量を含んでいます。

・品目別自給率＝国内生産量／国内消費仕向量

(国内消費仕向量＝国内生産量＋輸入量－輸出量－在庫の増加量(又は＋在庫の減少))

・(例)小麦の品目別自給率(令和2年度)

小麦の国内生産量(94.9万トン)／小麦の国内消費仕向量(641.2万トン)＝15%

■総合食料自給率

食料全体について単位を揃えて計算した自給率として、供給熱量(カロリー)ベース、生産額ベースの2とおりの総合食料自給率を算出しています。畜産物については、輸入した飼料を使って国内で生産した分は、総合食料自給率における国産には算入していません。

■カロリーベース総合食料自給率

カロリーベース総合食料自給率は、基礎的な栄養価であるエネルギー(カロリー)に着目して、国民に供給される熱量(総供給熱量)に対する国内生産の割合を示す指標です。

・カロリーベース総合食料自給率(令和2年度)

1人1日当たり国産供給熱量(843kcal)／1人1日当たり供給熱量2,269kcal)＝37%

分子及び分母の供給熱量は、「日本食品標準成分表2020年版(八訂)」に基づき、各品目の重量を熱量(カロリー)に換算したうえで、それらを足し上げて算出しています。

■生産額ベース総合食料自給率

生産額ベース総合食料自給率は、経済的価値に着目して、国民に供給される食料の生産額(食料の国内消費仕向額)に対する国内生産の割合を示す指標です。

・生産額ベース総合食料自給率(令和2年度)

食料の国内生産額(10.4兆円)／食料の国内消費仕向額(15.4兆円)＝67%

分子及び分母の金額は、「生産農業所得統計」の農家庭先価格等に基づき、各品目の重量を金額に換算したうえで、それらを足し上げて算出しています。

■食料国産率

食料国産率は、我が国畜産業が輸入飼料を多く用いて高品質な畜産物を生産している実態に着目し、我が国の食料安全保障の状況を評価する総合食料自給率とともに、飼料が国産か輸入かにかかわらず、畜産業の活動を反映し、国内生産の状況を評価する指標です。

令和2年3月に閣議決定された食料・農業・農村基本計画で位置付けられました。総合食料自給率が飼料自給率を反映しているのに対し、食料国産率では飼料自給率を反映せずに算出しています。

・カロリーベース食料国産率(令和2年度)

1人1日当たり国産供給熱量(1,052kcal)／1人1日当たり供給熱量22,269kcal)＝46%

- ・生産額ベース食料国産率（令和 2 年度）
食料の国内生産額（11.0 兆円）／食料の国内消費仕向額（15.4 兆円）＝71%

■飼料自給率

飼料自給率は、畜産物に仕向けられる飼料が、国内でどの程度賄われているかを示す指標です。

- ・飼料自給率（令和 2 年度）純国内産飼料生産量（620 万 TDN トン）／飼料需要量（2,498 万 TDN トン）＝25%

分子及び分母の数量は、「日本標準飼料成分表等」に基づき、各飼料の重量を TDN（可消化養分総量）に換算したうえで、それらを足し上げて算出しています。

■TDN（Total Digestible Nutrients）

日本語では「可消化養分総量」といい、家畜の飼料中に含まれる、これも「エネルギー」を評価する指標の一つです。すなわち、「エネルギー」を表すという点では、TDNも「カロリー」も一緒です。ただ違うのは、TDNは重さの単位であるグラム（g）やキログラム（kg）で表されます。したがって、人間の食品中のエネルギー価は、“食品 100g 当り kcal”と表示されるのに対し、家畜の飼料では“飼料中TDN含量（%）”で表されます。

飼料自給率は「[食料需給表](#)」に基づいて算出されていますので、一度農水省ホームページをご覧ください。

食料需給表は、我が国で供給される食料の生産から最終消費に至るまでの総量を明らかにしたものであり、FAO（国際連合食糧農業機関）の作成の手引きに準拠しています。

出典：「[食料自給率とは](#)」（農林水産省）（[食料自給率とは：農林水産省（maff.go.jp）](#)）

【4】福祉事業団体の活動

以下の URL からご覧ください。

- (1) 九州労働金庫熊本県本部
<https://kyusyu-rokin.com>
- (2) こくみん共済 coop 熊本推進本部
<https://www.zenrosai.coop/contact/zenkoku/kumamoto.html>
- (3) ユニオントラベル熊本
<http://unitora.com/>
- (4) 秋津レークタウンクリニック
<https://akitsu-laketown.jimdofree.com/>
- (5) ライフサポートセンターくまもと
<http://blog.rofuku.net/kumamoto-lsc/>
- (6) 熊本県労働者福祉会館
[\(http://www.roukan.org/\)](http://www.roukan.org/)

【5】事務局からひと言

- 熊本県産アサリ出荷停止。** 2 月 2 日熊日新聞の一面記事の見出しである。この

ことについては、TBS 報道特集での放映以降多くのマスコミが「熊本県産アサリ産地偽装」の報道を行った。

中国産のアサリが「熊本産」と偽って販売されていた問題で、農水省が「熊本産」として販売されるアサリの 97%に「外国産が混入している可能性が高い」と発表した事を受けての蒲島知事の判断である。熊本県産アサリのほとんどが、外国産アサリが混入している可能性が高いというこの問題は、中国産のアサリを熊本県の干潟に撒いて短時間で回収し、「熊本産」として出荷するなどの手口で、産地偽装が行われていたものである。

農水省は全国のスーパーなど 1,000 店舗で調査を実施し販売されている熊本産のアサリを買い上げてDNA分析を行ったところ、31 点のうち 30 点のアサリに「外国産が混入している可能性が高い」と公表した。さらには、調査の結果、一昨年熊本で獲れたアサリ 21 トンの 100 倍以上、推計で 2,485 トンが全国で「熊本産」として販売されていたという。そもそも、飼養期間の長いところを産地とする法律を、事業者が都合よく利用していたこと、それがわかっていながら摘発までには至らなかったことにも今回の産地偽装があるようである。

■**熊本県には GI (地理的表示) 農産品** (熊本県産い草、熊本県産い草畳表、くまもと赤牛、菊池水田ごぼう、田浦銀太刀、八代特産晚白柚、八代生姜、くまもと塩トマト) の認定数は全国 1 位となっている。生産者等の日頃からの絶え間ない努力を一部の心ない事業者の産地偽装行為により熊本ブランドの農産品の信用は失墜し、その回復には相当の時間と労力を費やさなければならない。真面目な事業者、生産者がハカを見るようなことは決してあってはならないのだが……。厳正な処分と併せて早急に法律の改正をすべきものではないだろうか。

※GI (地理的表示)・・・地域には、伝統的な生産方法や気候・風土・土壌などの生産地等の特性が、品質等の特性に結びついている産品が多く存在している。これらの産品の名称(地理的表示)を知的財産として登録し、保護する制度

■**アベノマスク**がまたぞろマスコミ報道されている。7,900 万枚の保管料 6 億円。希望を募ったところ 2 億 8,000 万枚に上ったと。そして、その配送料に 10 億円。廃棄した場合は 6,000 万円で済むとのこと。当時の国のトップを務めた方が、ある会合で「当初廃棄すると言っていたマスクに対して 2 億 8,000 万枚の希望があった。」と誇らしげに語り、それを聞いていた国会議員が満場の拍手を送っている映像が放映された。「裸の王様」を筆頭に異常な感覚の方々の集まりであったのだろうか。誰のお金なんだろうか。使うところはほかにまだあるのでは……。

■**2021.11 の生活保護申請件数**は 21,093 件、前年同月比 10.6%増で 10 か月連続との事。新型コロナウイルスの影響もあるが貧困、格差拡大が益々大きくなっている。国民の代表はもっと国民目線で舵取りをやってもらわないと。我慢にも限界があるのではないだろうか。

「国民は、時間が経過すれば忘れるから……」ではすまない。

■**今、労福協はどうあるべきなのか、コロナ禍からアフターコロナを見据えた取組**をしていかなければならないと考えるが……

今こそ!

労福協の力を

「持続可能な社会をめざして」「誰ひとり取り残さない社会をめざして」そのような思いでふれあい通信を継続していくことができれば・・・

ご意見、ご要望をお聞かせください。

一般社団法人 熊本県労働者福祉協議会

〒862-0976

熊本県熊本市中央区九品寺 1 丁目 17-9

TEL 096-375-6029 FAX 096-375-6030

E-mail rofuku@lime.ocn.ne.jp